

2019年度 【 東播磨・二市二町 】ブロック活動報告

ブロック代表理事氏名（ 藤原 みつえ ）

■活動目標

1. 医療機関や多職種関係機関の“顔の見える関係”を構築し、知識の向上・情報の共有に努め地域に貢献する。
2. 訪問看護ステーションの質の向上に努める。

■活動内容

1. 定例連絡会（管理者・役員会）

回	開催年月日	主な討議事項	出席者数
1	2019年5月14日	新規加入ステーション挨拶・関係機関からの情報交換・連絡事項	42名
2	2019年6月20日	会員からの情報交換・関係機関からの情報交換	31名
3	2019年9月10日	連絡事項（新規加入ステーション紹介）情報交換	49名
4	2019年11月12日	会員情報交換 連絡（管理者交代のお知らせ）	37名

2. 総会

日時	場所	報告・審議事項	参加者数
2019年5月14日	加古川勤労会館2階 会議室201号室	平成30年度事業報告・会計及び監査報告、2019年度事業計画・予算・役員紹介、各部より連絡・関係機関より情報提供	42名

3. 研修会

1) ブロック独自研修

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
ときどき入院ほぼ在宅 結核を知る	2019年6月20日	加古川勤労会館	秋山正子 田中まり子	31名
やってみよう ACP	2019年9月10日	加古川勤労会館	稲岡雄太	49名
心不全の病状と治療～心不全手帳を用いた心不全管理～	2019年11月12日	加古川勤労会館	嘉悦泰博 小林彩香	37名
知っているようで知らない便秘とオシリの話	2020年1月30日	ウエルネージ加古川	佐々木みのり	139名

2) その他研修会

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
明日からの地域包括ケアを考える会 2019	2019年9月12日	加古川商工会議所 地下1階中会議室	田中宏治	34名

4. 交流会

開催年月日	場所	内容	参加者数
2019年5月23日	高砂市医師会	地域連携多職種交流会議	12名
2019年8月3日	ウエルネージかこがわマリンガ ホール	播磨薬剤師会地域医療部会との研修 衛生材料と在宅での物品について	9名
2019年8月6日	高砂商工会議所地下	明日からの地域包括ケアを考える会	6名

5. 地域の関連機関との連携及び会議等の出席に関する事項

会議名	開催年月日	場所	出席者氏名
播磨町自立支援ケア会議（毎月第4木曜日 年間11回）	2019年4月25日	播磨町福祉しあわせセンター3階 会議室	柳美穂
第25回高砂ホームナースの会総会	2019年5月8日	高砂市保健センター	北田晴美

高砂市地域ケア会議・地域ケア実務者会議	2019年5月30日	高砂市役所南庁舎2階会議室2	間村道子
高砂市在宅医療・介護連携推進協議会	2019年5月31日	高砂市役所南庁舎4階会議室	間村道子
東播磨圏域地域リハビリテーション協議会	2019年6月6日	加古川総合庁舎5階会議室	藤原みつえ
第25回東播認知症連携協議会	2019年6月20日	ウエルネージかこがわ1階マリンガホール	亀井嘉代子
たかさご女性活躍推進会議	2019年7月9日	高砂市役所南庁舎4階会議室	間村道子
高砂市地域ケア推進会議	2019年7月18日	高砂市役所南庁舎2階会議室1	間村道子
東播磨圏域健康福祉推進協議会医療部会(地域医療構想調整会議)	2019年8月1日	加古川総合庁舎5階会議室	藤原みつえ
高砂市地域ケア会議・地域ケア実務者会議	2019年8月29日	高砂市役所南庁舎2階会議室	間村道子
高砂市地域ケア会議・地域ケア実務者会議	2019年11月7日	高砂市役所南庁舎2階会議室	間村道子
たかさご女性活躍推進会議	2019年11月23日	高砂市役所南庁舎4階会議室	間村道子
東播磨圏域健康福祉推進協議会医療部会(地域医療構想調整会議)	2019年11月21日	加古川総合庁舎5階会議室	藤原みつえ
高砂市地域ケア会議・地域ケア実務者会議	2020年2月13日	高砂市役所南庁舎2階会議室	間村道子
地域医療構想懇話会	2020年2月16日	兵庫県医師会館2階大会議室等	藤原みつえ
難病在宅療養支援会議	2020年2月10日	加古川総合庁舎3階機能訓練室	北田晴美
高砂市在宅医療・介護連携推進協議会	2020年2月28日	高砂市役所南庁舎4階会議室	間村道子

6. その他の報告内容

管理者の会について

【さざなみ会】加古川市・稲美町・播磨町の管理者で構成され2ヶ月に一度開催

【お通の会】高砂市の管理者で構成され2ヶ月に一度開催

- ・各ステーションからの報告
- ・ステーション管理者としての問題、相談、提案等

■活動の評価

1. 今年度は研修会を主とした活動にした。第1回講師の秋山先生はナイチンゲール賞を受賞され、看護師の専門性の意義を改めて認識できる機会になった。
2. 「便秘とオシリのはなし」は、各種団体の共催・後援を得ることもできた。新規立ち上げのステーションが多く、病院・行政などの関係機関の参加も増えた。これにより、この連絡会が訪問看護の地位向上と職域発展に貢献できたと考える。
3. 役員の負担に関しては、各地区で役割を担うなど、少しずつ改善を試みている。
4. 新型コロナウイルス感染拡大により、第6回ステーション連絡会は中止となり、今年度の活動を次年度に申し送り終了とした。今年度は研修に重きを置いたため、他職種連携、参加、協賛を頂き盛会のうちに終了できた。